

写真提供／千葉日报社



ラストフライトを終えた“ジャンボ”

41年の歴史に幕

日航ジャンボ引退



“ジャンボ”引退に駆け付けたファンたち

日本航空（JAL）のボーイング747-400型機、通称「ジャンボジェット」2機が3月1日、沖縄とホノルルからのラストフライトを終え、成田空港に着陸しました。ジャンボジェットは、40年以上にわたって飛び続けたJALのシンボルの存在。しかし、経営環境の悪化などから小型・中型機への切り替えが進められていました。この日、飛行機見物の名所として知られるさくらの山公園には「ジャンボ」の最後の雄姿を一目見ようと大勢の飛行機愛好家が訪れ、別れを惜しんでいました。

氷の彫刻展

圧巻！ “冷たい”芸術品

新勝寺大本堂前で3月6日、「氷の彫刻展」が行われました。参加したのは、関東近県から集まった18人の調理師です。制限時間は2時間30分。270kgの氷柱から魚や動物などの見事な作品が出来上がると、集まった見物客は夢中になってシャッターを切っていました。



完成間近の作品にカメラマンが集まる